

平成23年9月15日

東日本大震災に伴う地域の文化遺産を活用した復興計画の策定に関する事業の採択について

このたび、文化庁では、平成23年度「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」の2次募集において、「地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業（地域の文化遺産を活用した復興計画の策定）」の採択を決定しましたので、お知らせします。

1 目的・採択状況等

別紙のとおり

2 審査

外部有識者による審査委員会の審査を経て、文化庁長官が決定

照会先：

文化庁文化財部記念物課

課長 矢野 和彦（内線2873）

専門官 草野 純一（内線4762）

調査官 市原 富士夫（内線2882）

技官 鈴木 地平（内線3142）

係長 堀 敏治（内線4768）

代表 03(5253)4111 直通 03(6734)2876

【事業概要】

「平成 23 年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」 地域の文化遺産を活用した復興計画の策定

1 目的

東日本大震災により甚大な被害を受けた被災地において、文化遺産を早期に再生しその活用を図ることによって、震災で失われた又は損なわれた地域共同体の連帯の再生を支援するとともに、地域において育まれた記憶の継承を促進し、安全・安心かつ永続的な地域の復興を図る。

2 事業実施対象地域

岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県を中心した被災地域

3 事業内容

国から委託を受けた補助事業者（地域の文化遺産の所有者若しくは保護団体等によって構成される実行委員会等）が、地域の文化遺産を活用した復興計画の策定に向けて、地域の文化遺産に関する調査研究のうち、次のような事業を実施する。

- （１）地域における歴史的な土地利用の変遷の把握
- （２）文化遺産によって形成される地域の文化的特性の析出
- （３）文化遺産の修理・復興手法の検討
- （４）復興まちづくりへの活かし方の検討

4 採択額

総額 約 5 6 百万円程度

※スケジュール（予定）

8 月 1 日	事業の募集開始
8 月 1 9 日	締切り
9 月 1 2 日	事業の採択（実行委員会の決定）
9 月 中旬～	事業開始（平成 24 年 3 月まで）

地域の復興に資する文化遺産の早期再生・活用 ～地域の共同体再生と記憶継承～

文化庁

復興の「シンボル」となる文化遺産（ハード）

名勝 高田松原
(陸前高田市)

復興に向かう強い心の支えになる自然のシンボル

特別名勝 松島

日本三景の一つの島
壊滅的な被害から復興
生活と文化財保護の調和

史跡 小峰城跡
(白河市)

日本の町の心の
支え、城郭の復旧

地域の「記憶」を伝える文化遺産（ソフト）

黒森神楽(宮古市)

地域の伝統・伝承である
民俗文化財は、人々の心の
拠り所となる

虎舞(大槌町)

震災後も複数の虎舞で
コミュニティの絆を確認

貞山堀と野蒜築港
(東松島市)

人々の土地利用の
歴史が文化的景観

歴史や土地の履歴から学ぶ復興まちづくり（ストーリー）

■ 東北の三陸海岸沿岸の都市や集落は、明治以降に限っても、明治29年(1896)の明治三陸津波、昭和8年(1933)の昭和三陸津波という二度の大きな津波の被害を受け、多数の犠牲者を出してきた。



土地の履歴(チリ地震による津波被害)



釜石市災害復興計(1934年)

文化遺産の把握から
修理・活用へ

「地域の文化遺産を活用した復興まちづくり」の必要性

- 文化遺産は地域の人々の心の拠り所であり、「ハード」、「ソフト」の両面から復興まちづくりに寄与する。
- 地域に刻まれた災害の記憶・痕跡は、防災の観点から、未来への復興まちづくりへの道しるべとなる。
- 安全・安心かつ永続的な地域の復興・再生のためには、文化遺産の価値(ストーリー)を再認識する必要がある。

地域の復興に資する文化遺産の早期再生・活用
～地域の共同体再生と記憶継承～

文化庁

文化財の調査、保存・活用等に関わる技術的支援



① 地域における土地利用の変遷を読み解く調査の支援。

次世代に継承すべき地域の文脈を再確認



② 地域に根ざした伝統行事・芸能の伝承を支援。

地域における暮らしの在り方を伝える地域資源の継承



③ 地域の記憶を継承するため、震災の痕跡を記録。

震災の記憶を防災に活かした復興まちづくり



④ 被災した文化財の調査と、修復への技術的支援。

文化財の正確な記録と、伝統的な技術の継承



⑤ 地域に伝わる技術や美術工芸品の公開促進と技術的支援。

伝統的な技術の継承と、それに基づく価値の保存

地域の復興に資する文化遺産の早期再生・活用 ～地域の共同体再生と記憶継承～

文化庁

- ・文化財補助事業
- ・文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業
- ・歴史文化基本構想
- ・文化財レスキュー事業
- ・文化財ドクター事業 等

既存手法の活用・他省庁連携

- ・津波被災市街地復興手法検討調査(国交省)
- ・三陸復興国立公園(仮称、環境省)
- ・海岸防災林の再生(林野庁)



地域の復興に資する文化遺産の再生・活用事業

被災地方公共団体において、技術的支援・専門家派遣等を通じた以下の事業を実施する。

- 地域の歴史的な土地利用の変遷を把握
- 文化遺産が形成する地域の文化的特性の析出
- 文化遺産の修理・復旧手法の検討
- 復興まちづくりへの活かし方の検討

地方公共団体の復興計画等へ提言

地域の復興に資する文化遺産の早期再生・活用 ～地域の共同体再生と記憶継承～

文化庁

No.	都道府県名	事業主体	対象地域	事業内容
1	岩手県	宮古市・地域の文化遺産を活用した復興まちづくり検討委員会	宮古市	<ul style="list-style-type: none"> ・宮古市の歴史・文化遺産の状況、地域の文化的特性の把握 ・主要な歴史・文化遺産の被災状況の把握と保存活用の課題、手法の検討 ・歴史・文化遺産を活用した復興まちづくりの方針の提案
2	岩手県	大槌町文化遺産活用委員会	大槌町	<ul style="list-style-type: none"> ・集落の生活文化調査、・集落の祭事調査 ・文化遺産の価値共有化事業、・文化遺産を生かしたまちづくりプラン検討 ・文化遺産を生かした地域再生事業(新規製品の開発検討、被災物の遺産化等による観光活性化実験等)
3	岩手県	文化遺産を活かした釜石再生事業実行委員会(仮)	釜石市	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における歴史的な土地利用変遷の把握(浸水地域を中心とする) ・今次津波及び過去の津波に関する資料収集及び公開 ・文化遺産の修理・復旧手法の検討、復興まちづくりへの活かし方の検討
4	岩手県	陸前高田市における歴史・文化遺産を活用した復興計画策定実行委員会	陸前高田市 今泉地区・名勝高田松原	歴史的建造物・町並みを有する今泉地区及び名勝高田松原について、 <ul style="list-style-type: none"> ・既往文献・資料の収集・整理、有識者等への意見聴取 ・復興計画への反映・展開の在り方の検討
5	宮城県	特別名勝松島の復興と保存管理の在り方検討実行委員会	特別名勝松島	<ul style="list-style-type: none"> ・特別名勝松島の歴史的土地利用の変遷把握 ・特別名勝松島の人文的要素の被災状況調査 ・復興手法、活用手法の検討と提言
6	宮城県	宮戸・野蒜地域の文化遺産の再生・活用検討実行委員会	東松島市 宮戸・野蒜地域	<ul style="list-style-type: none"> ・宮戸・野蒜地域の文化遺産の被災調査及び修理・復旧手法等の検討 ・宮戸の復興に資する文化遺産の再生・活用のための基礎調査 ・宮戸・野蒜地域の文化遺産の復興まちづくりへの活かし方の検討
7	宮城県	北日本近世城郭検討会	宮城(白石市) 福島(二本松市) 白河市、相馬市、いわき市、棚倉町	<ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会(歴史学、土木・地盤工学、地震工学、都市計画学等の専門家、石垣技能者等)の開催 ・現地調査(文献調査、現地踏査、測量調査、関係機関へのヒアリング等) ・被災原因、復興手法検討 ・観光振興、地域活性化のための活用手法検討